

平成17年度第2回鎌ヶ谷市図書館協議会会議録

日 時 平成17年12月22日(木) 午後3時～5時15分
場 所 鎌ヶ谷市立図書館3階保育室
出席委員 菊地委員長 倉田副委員長 三門副委員長 寺島委員
浜口委員 伊藤委員 河永委員
欠席委員 奈良委員 大八木委員 小茂田委員
事務局 井上教育長 齊藤館長 木田生涯学習課長 林主査補
傍聴者 無し

- 1 開会のことば 倉田副委員長
- 2 委員長挨拶
- 3 教育長挨拶
- 4 議事

議事録署名委員の指名 浜口委員 河永委員

報告事項

- ①平成17年度図書館利用状況について(4月～11月)

事務局

利用状況については別添資料のとおり、昨年同時期を上回ってはいるが、祝日開館や開館時間の延長などを考えると実質的には頭打ちと考えられる。又、業務委託について全国的に着目され視察、問い合わせが多数きている。8月に利用者に対しアンケートを実施したが、蔵書の充実とコンピューターシステムの充実が求められていることがわかった。又、読書活動を進める手段の一つとして、7月より「創作教室ザ・チャレンジ」を社会教育指導員を講師としておこなっている。

- ②その他

移動図書館車は6月の車検切れにより巡回を終了し、7月から予約貸出巡回サービスを実施しているが、「そよかぜ号」については8月20日NGO法人「アジア・アフリカと共に歩む会(アフリカに本・移動図書館車を贈る運動をしている団体)」に寄贈された。

委員 アンケート調査項目中、以前より悪くなったという回答が1%あるのは、窓口での対応が悪いのか否か。本来的に委託するべきではなかったのではないか。

事務局

窓口の接遇ではなく、本来公共図書館は専門の職員を配置して対応すべきであるといった意見である。

委員 「ザ・チャレンジ」のように色々な形で行事を行うのは良いことだと思う。図書館の負担、又参加者はどのくらいいるのか。

事務局 講師は社会教育指導員なので、それほどの負担は無い。参加者は20名くらい。

協議事項

①平成18年度図書館運営方針（案）について

事務局

鎌ケ谷市の教育の方針に基づき作成。また、来年度は子ども読書活動推進計画が策定されるため、この計画書に基づき実施に努めるに改めたものである。

②鎌ケ谷市子ども読書活動推進計画について

生涯学習課長説明

これはまだ案の段階で、皆さんの意見を聞いて作成し、2月か3月には公開したいので、皆さんの所属している各団体に持ち帰り検討していただきたい。

委員 絵本は読んであげているので問題ないが、絵本の上の段階の本になると読まれなくなってしまう。学校に司書をおいて読書普及を図ることが大事。この計画に予算はつくのか。

生涯学習課長

現時点で予算はつかない。計画が策定された段階で予算化されるかどうかの問題。

事務局 横のつながりを意識しながらやっていくのが一番大きな問題である。手始めに学校図書の実態をつかむため、2月中旬に図書館職員と学校職員との会議を予定している。

委員 学校図書ボランティアを養成するのは、学校がイニシアチブをとる必要がある。ボランティアと学校との連携に図書館がどう関わるか。

事務局 学校との連携は大切なことである。このためまず、学校図書室の実態と課題の把握に努める事が先決と考えている。

委員 各学校でどのような活動を行っているのか現状を取りまとめ横の情報を充実させたほうが良い。

生涯学習課長 ボランティア団体の状況を資料として作成したい。

委員 2歳の子どもに知育のための本を求める母親がいたが、その子は本を好きにはならない。

委員 読書は楽しいことを強調したい。本を読むという環境を整えるということが大事である。学童保育についても考慮し、子どもがいるところで色々な活動を行う必要がある。

委員 五本松小学校では、司書がいた2年間とその後では半減している。

事務局 現在の社会情勢などを考えると図書館に子どもを呼ぶのではなく図書館から出向く必要がある。団体貸出等届ける手法を検討する。

③その他

次回の会議日程 2月18日(土) 1:30～
委員 学校の現状を視察したい
事務局 新年度から計画したい。
5 閉会のことば 三門副委員長

会議録署名人署名

以上、会議の経過を記載し相違のないことを証するため次に署名する。

平成18年 1 月 30 日

氏名 浜 口 貞 美

氏名 河 永 光 代